

タリー精神に基づいて、近年問題の多いコンプライアンス（法令遵守・企業倫理）等についても情報を提供していきたいです。最近、第2590地区、川崎大師RCでは京浜急行内の吊り広告にコンプライアンス宣言をして、評判になっております。これは企業倫理の問題で、最近では石屋製菓・ミートホープなどが取りざたされておりましたが、コンプライアンスの基本は、ロータリーの基本4テストを実践すればクリアすると言われております。そういうことから、川崎大師RCは広告を通して、皆様に啓蒙するためにしたと聞いております。私自身、ロータリークラブに入会して20年になりますが、新会員の時に「例会場に入りて学び、例会場を出て奉仕せよ」、「ロータリーに教師はいません。ロータリアン全員が教師であり、そして全員が生徒である」と教わったと記憶しております。つまり、ロータリーは己を教育する場だという事です。

2011年7月24日にテレビのデジタル化が決まっているように、世の中は双方向で情報が今まで以上にいきかう時代に突入していく事でしょう。ロータリーの情報も、より電子化されてペーパーレス化が進むと考えられます。そうなってくると情報の提供や発信の仕方も当然変わってくることでしょう。いずれにせよ多くの情報を集め、それらを選択して伝えていかなければと考えております。皆様方からの情報を頂き、そして発表していただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。



<広報委員会>

尾崎委員長

今年度の広報委員は鈴木会員と私が務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

地域、地元の皆さんにロータリークラブがどういう形で認識されているでしょうか。ロータリークラブとはどういう団体なのか、会員にはどんなメンバーがいるのか、どんな活動をしているのか、場所はどこなのか、など大変素朴な疑問ですが、この事柄をより分かりやすく、具体的に「活動内容とロータリー精神」を多くの人々にアピールする事が広報委員会の役割であると考えております。幸い、川崎百合丘RCも昨年度より、インターネット ホームページを設けましたので、ネットを通じての広報活動をより積極的に活動したいと思います。全国ロータリーのネットを見ると、ロータリアンインターネット協議会が立ち上がっておりまして、各クラブともホームページならではの自己PRに懸命です。一例をあげますと横浜のあるロータリークラブですが、入会するメリット、入会して良かった事を会員の写真入りで案内、例会を見学して昼食を一緒に食べませんか、などいろいろなPRをしています。

ところで皆さんは我が川崎百合丘RCのホームページを見たことがありますでしょうか。ロータリーの事がすべてが分かりますし、時には初心にかえって勉強するのもいいかと思えます。会員増強の折の新規会員への勧誘促進時に力強いバイブルになると考えております。ちなみに中村会員が入会された時に、麻生RCのホームページを見て決断されたそうです。特に若い会員を勧誘するには、ホームページがいいと思えます。そういう訳で、ホームページを広報の手段として、関連する各委員会と連絡をとりながら、積極的に活用していきたいと思えます。また、新聞や地域紙などへのPRも大いに活かしていきたいと思えます。